

商品の利用を通して様々な支援や取り組みを進めています。



地域や世界に向けて
みなさんの想いがつながっています。



コープ産直こめたまご生産者支援基金



コープ産直こめたまご1パックにつき1円の支援金。

コープ産直こめたまご生産者の家畜疫病の発生など、不慮の被害に対して、損害への補填や事業再開への支援を目的に、2007年4月に設立されました。コープ産直こめたまご1パックにつき1円が支援金として積み立てられます。2007年7月には、鶏インフルエンザの発生により1万2千羽の養鶏すべてを処分することになった生産者に対し、280万円の支援金が贈られました。その後、2009年の美作市の豪雨による被害に際し、自然災害での被害へも適用範囲を広げて支援することになり、支援金が贈呈されました。



2007年7月、鶏インフルエンザの被害に遭われた生産者へ支援金を贈呈。

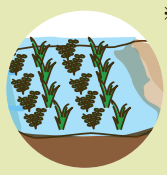


2011年度
1月末の残高は **10,849,477円**です。

藻場(もば)生態系復元実証事業

「コープ洗剤 環境寄付キャンペーン」で対象洗剤1箱につき、2円の協賛金。

昨年行われた「コープ洗剤 環境寄付キャンペーン」で得た協賛金12万2857円を、岡山県が実施する「藻場*生態系復元実証事業」に寄付しました。また、2012年度も藻場の再生に関連する活動にも取り組みます。



*「藻場」とは沿岸域の海底で海草(アマモなど)が繁茂している所。魚の餌場や産卵場所となることから「海のゆりかご」とも呼ばれています。岡山県では、備前市日生町沖にアマモ場を整備し、生態系復元の検証を進める事業を行っています。

贈呈の様子 左より
平田専務理事、
山野井水産研究所長、
三宅農林水産総合センター長



おかげさまで
2011年度は **12万2,857円**の協賛金を寄付できました。

2011年6月~10月

CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクト

「CO・OPコアノンロール」1パックで1円の募金。

2011年11月から2012年10月末まで実施する「CO・OPコアノン スマイルスクールプロジェクト」は、CO・OPコアノンシリーズを利用することで、1パックにつき1円がユニセフ主催のアンゴラ共和国「子どもにやさしい学校づくり」プロジェクトへの支援になります。アフリカ南西部に位置するアンゴラ共和国は、30年に渡る内戦が2002年に終わったばかりの戦争の爪跡が残る国。それゆえに、約100万人の子どもが学校へ通えていない状況です。この募金が、楽しく学べる「小学校づくり」に活かされます。



2011年11月よりスタートの募金総額は **約216万円** 日本生協連全体で集まりました。

2011年11月~2012年1月

もずく基金



対象1商品につき宅配は2円、
店舗*では1円の「もずく基金」。

*店舗での恩納村でしか採れないもずく(40g×4)は、2円となります。

コープCSネットと連携して取り組んでいるもずく基金は、恩納村漁協がメーカーや行政と一緒に取り組まれる、サンゴ礁再生事業に利用され、サンゴの養殖のために使われます。対象商品は、宅配事業・店舗事業での恩納村産もずくです。



おかげさまで2011年度は **約190万円**(サンゴ 約600本分)の基金がコープCSネット全体で集まりました。

2011年4月~2012年3月(見込)